

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立弥生が丘小学校
校長 田崎 幸子

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「言語の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」について全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「情報の扱い方に関する事項」については、全国の平均正答率を上回っていましたが、まだ伸びが期待できます。情報と情報の関連づけの仕方や図などによる関係の表し方を理解して使うことに課題が見られました。また、「話すこと・聞くこと」についても、全国の平均正答率を上回っていましたが、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることに伸びが期待できません。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域においては、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「図形」の領域においては、全国の平均正答率を下回っていました。正三角形等の図形の意味や性質の理解や、複数の図形においてそれらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

調査項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	39.2%	38.1%
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	56.0%	55.1%
朝食を毎日食べている。	80.8%	83.7%
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	25.6%	28.7%
平日、1時間以上勉強している。	68.0%	57.1%
平日、30分以上読書をしている。	40.8%	37.3%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	81.6%	75.3%
自分には、よいところがあると思いますか。	41.6%	42.6%
将来の夢や目標をもっていますか。	59.2%	60.8%

- 起床・就寝については、全国の割合と大きな差異はないことから、家庭の協力により児童の基本的な生活習慣は身に付いていると思われます。しかし、「朝食を毎日食べている」と回答した児童は、80.8%で、全国の割合を少し下回っています。朝食については、朝食の大切さと意味についての指導とともに家庭での習慣化について、再度見直す必要があると考えます。
- 田代中校区「家庭学習の手引き」には、家庭学習時間の目安として、60分～90分と記しています。平日に1時間以上勉強している児童は68.0%と全国の割合に比べると高くなっています。また、本校児童は読書好きの傾向にあり、平日30分以上読書をしている児童は40.8%と全国の割合に比べると高くなっています。ただ、「家で自分で計画を立てて勉強している」児童は全国の割合よりも少し下回っています。学校では家庭学習の質や時間がより一層充実したものになるよう工夫するとともに、自主的な学習を奨励し、家庭と連携して引き続き指導に取り組んでいきます。
- 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童は、全国の割合を上回っています。一方、「自分には、よいところがある」「将来の夢がある」と回答した児童は全国の割合をわずかに下回っています。家庭、学校、地域が連携して児童のよさを認め、成長を温かく見守り、自分らしさを発揮できるように支えていく必要があります。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- 全職員で本校の傾向や課題を共有し、本校のよさを伸ばし、課題を解決する具体的な取組について考え、それを実践していきます。
- 授業では、一人一人がめあてをもって取り組み、粘り強く考え、自分の考えを伝え合う対話活動等を通して、児童が自分の力を伸ばしていける授業の在り方を工夫し、改善していきます。
- 家庭学習の充実に向けて、宿題の内容や量の見直しを行います。音読や漢字、四則計算などの基礎基本の定着を図るとともに、児童が自主的に取り組むことができ、力が付く「自主学習（自学）」の例を提示していきます。

【ご家庭でお願いしたいこと】

1 家庭での学習時間をつくってください。

【低学年30分程度、中学年40～50分、高学年60～90分「家庭学習の手引き」参照】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、毎日取り混ぜることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビやゲーム、スマートフォン、タブレットの時間を決め、守らせましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を付け、生活のリズムを整えましょう。
- ◎お子さんの声に耳を傾け、親子でたくさん語り合しましょう。

